

2001. 07. 28. 「国語と日本語の連携を考える会」研究会  
門倉正美（横浜国立大学留学生センター）

## I Critical Thinking とは？

- Critical Thinking (批判的思考) は、アメリカの English 教育の中で、1960 年代以降、教育領域として発展してきたものであり、幼稚園から大学までどの段階の学習にも配当されている。(アマゾンで critical thinking をタイトルとする書籍のヒット数は 986 件だった。)
- Critical Thinking の教育内容は、論理学 (演繹だけでなく、帰納、虚偽論【誤った論理展開】も含む)、一般意味論、レトリック論、メディア・リテラシー等の広範な領域を含んでいる。

中心的な課題は、情報の氾濫する時代環境の中で、与えられた情報内容の中の思考過程や自らの思考過程を捉え直し、たえずより合理的で偏りのない思考を求めていくための態度・知識・技法を身につけることにあると言えよう。critical (批判的) とは、「批判する=けなす」という日本語の普通の意味合いではなく、カントの「批判」哲学的な意味合い、つまり「考える」こと (思考過程) について考える、というメタ思考を表している。

## II. Critical Thinking と日本の国語教育とのかかわり

- 井上尚美は、「言語論理教育」を国語教育に導入しようという自らの企図との関連で、比較的早い時期にアメリカの「批判的思考」教育を紹介している (『言語論理教育への道——国語科における思考』文化開発社 1977) 。【資料 1】
- 井上の本に紹介されている、昭和 29 年 (1954 年) の「言語編」教科書の内容は、レトリック論やメディア・リテラシー的な発想等も見られて、興味深い。【資料 2】
- 木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書) は新鮮な問題提起だったが、「批判的思考」教育から根本的な発想 (「事実と意見の区別」「パラグラフ思考」等) を受けている面がある。木下の問題提起は、学習院初中等教育の国語科に「言語技術教育」として取り入れられ、言語技術教育学会も発足した。(言語技術の会編『実践・言語技術入門——上手に書くコツ・話すコツ』朝日新聞社 1990 年、波多野里望編著『なぜ言語技術教育が必要か』明治図書 1992 年参照)
- 「分析批評」や「ディベート授業」にも、「批判的思考」的な観点がうかがえるように思う (浜上薫『「分析批評」の授業の組み立て方』明治図書 1992 年、花田修一『国語科ディベート授業入門』明治図書 1994 年等参照) 。
- 大学の教養教育における論理学クラスを下敷きに行っているが、野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書 1997 年)、『論理トレーニング 101 題』(産業図書 2001 年) は、きわめて優れた「批判的思考」を展開している。国語科教育に応用できる問題領域も数多く提起されている (実際、最近、国語科教員を対象とした野矢氏の講習会も催されたようだ) 。

## 2 黒か白か（二値的考え方から多値的考え方へ）

F、黒か白か（二値的考え方から多値的考え方へ）

〈ねらい〉

1、二値的考え方というのは、ものごとを白か黒か、良いか悪いか、敵か味方かというように、排他的な二つの極に分類して考えることである。それに反して多値的考え方というのは、この二つの極の間にさまざまな度（程度）があることを認めようとすることである。われわれは興奮して感情的になると、とかく二値的に考えがちである。しかし心にゆとりをもち、冷静に考えるときには、多値的に考えることができる。そこで、冷静に考え冷静に話し合うことによって、考え方を柔軟にし、妥協し、意見を修正していくこと、価値の多元性を認めることの重要さを認識させる。

〈扱い方の例〉

イ、次のことばの反対語を挙げてみましょう。

黒、重い、金持、暑い

ロ、「暑さ——寒さ」について考えてみましょう。この二つのことばの中間に入るようなことばはありますか（涼しい、暖かい）。イで挙げたことばのうち他のものについてはどうですか？ その度合いを科学的なスケール（ものさし）で測れるでしょうか（30°Cとか5cm, 3gなど）。

ハ、「生と死」のように、はっきりと二つにしか分けられないような（中間の第三者を入れる余地のない）ことばを挙げてみましょう（これは論理学では矛盾概念と呼ばれる）。

ニ、私たちの社会生活では、二つの対立する見方に分かれることがあります。それらの例を挙げて皆で話し合ってみましょう（例、政府と野党、東西両陣営の対立など）。

ホ、ここで学習したことにもとづいて、「絶対に」とか「〜以外にはない」などという表現について考えてみましょう。



### 3 評価を含んだ表現

#### 価値判断を含んだ表現

「事実」と「意見」の相互干渉という「文科系」的な観点からすると、「意見」要素として自然科学が退ける形容詞・副詞といった修飾語の働きに注意するだけでなく、文全体あるいは単語がもつプラス・イメージ、マイナス・イメージに敏感であらねばならない。われわれのほとんどが自分に甘く、他人に厳しいことを皮肉って、ラッセルはどこかで、こんな「動詞の人称変化」を唱えていた。つまり、プラス・イメージの表現を一人称表現、中立イメージを二人称、マイナス・イメージを三人称と呼ぶのである。「私は事態に柔軟に対応した。君は意見を変えた。彼は変節漢だ。／私はグルメだ。君はよく食べる。彼は大食いだ。／私は繊細だ。君は細かいところに気がまわる。彼は神経質だ」を例にして、論理学クラスの学生にこうした人称変化の例を募ったところ、「三人寄れば文殊の知恵」で、いろいろ面白い文例を収拾できた。その内のいくつかを紹介してみよう。煩瑣なので、「私は」、「君は」、「彼は」は省略する。

「おおらかだ。細かいことを気にしない。鈍感だ。／独創的だ。考え方が他の人と違う。変わり者だ。／決断が早い。即座に対応する。せっかちだ。／スマートだ。やせている。貧弱だ。／素直だ。人のいうことをよく聞く。主体性がない。／社会性にとんでいる。人づきあいがいい。八方美人である。／明るい。にぎやかだ。うるさい。／ナイーブだ。内気だ。気が小さい。／シャイだ。おとなしい。クラい。／筋のとおった考え方ができる。論理的だ。理屈っぽい。／きれい好きだ。整理整頓をよくする。潔癖である。／専念する。熱中する。ふける。／信念をつらぬく。考えをかえない。頑固である、等々」

こうして並べあげてみると、完全に中立的な表現はほとんどないのではないか、と思えてくる。近代自然科学が数量的記述の内に中立的・客観的事態を構築しようとしたのは、ある意味では、こうした価値表現にまみれた日常言語世界からの逃走ともいえるだろう<sup>21)</sup>。中立的な表現が少ないだけに、われわれは価値判断的ニュアンスに敏感でなければならない。また、細かい点だが、「スマート!」「ナイーブ!」「シャイ!」といった英語起源の表現に好感度があることも、欧米コンプレックスの表れとして、あらためて心にとめておく必要がある。

形容詞・副詞、あるいは名詞といった一部の成分だけでなく、文全体が時には文脈の中でプラス・イメージないしはマイナス・イメージをともなうようになるという点も重要である。広告の文体の常套手段だが、ある事態のどこにスポットライトを当てるかによって、受け手の印象が微妙にかわってくることもある。

（ねらい）

1、観察した事実をそのまま記述した「報告」と、それにもとづく「推論」、さらに価値判断を入れた「断定」とを区別させること。

2、われわれが事実そのものの記述とと思っていることの中に推論や断定が忍び込んでいるということを自覚させること。

（扱い方の例）

イ、みんなのよく知っている人やものごと（教室、受持ちの先生など）について、できるだけ自分の考えを入れないで（客観的に）記述してごらん下さい。次にそれをお互いに交換して、その中に推論や断定が含まれていないかどうかを話し合ってみましょう。

ロ、一人の生徒が、授業開始後十五分たってから教室に入ってきました。そのことについて述べた次の三つの文を比較しましょう。

(1) 「彼は遅刻した。」

(2) 「彼はだらしない子供だ。」

(3) 「彼は寝坊したにちがいない。」

ハ、次の文で表されていることがらが、正しいといえるための根拠となる材料を想像して、五つ考え出しなさい。ただし、「彼」自身の発言を入れてはいけません。

(1) 彼はウソつきだ。

(2) 彼は優等生だ。

(3) 彼は勇敢な少年だ。

ニ、新聞の投書の一つとりあげ、そこで述べられている文を「報告」「推論」「断定」に分類してごらん下さい。ホ、あることがらについて起こった「うわさ」の例を話し合ひましょう（原因、広がり方など）。

ウ、話せなくなった方が負けです。

井上尚美『言語論理教育への道』  
より

【参考文献】（プリント中にタイトル・著者名をあげたもの以外）

E. B. ゼックミスタ、J. E. ジョンソン『クリティカル・シンキング』北大路書房 1996 年  
——クリティカル・シンキングがねらっているものの全体的な輪郭が分かる。

グロービス・マネジメント・インスティテュート『MBAクリティカル・シンキング』ダイヤモンド社 2001 年——ビジネスマンにとってのクリティカル・シンキングを追究する。著者は日本の研究集団。

M. G. ルーベンフェルト他『クリティカルシンキング 看護における思考能力の開発』南江堂 1997 年——クリティカル・シンキングを看護領域で生かすノウハウが詳細に語られている。

M. N. Browne and S. Keeley; Asking the Right Questions — A Guide to Critical Thinking Prentice Hall, 2001——数多い英語のクリティカル・シンキング本の中から最新かつ好評なテキストを 1 冊あげてみた。

M. パーンズ・M. ウェストン『考える練習をしよう』晶文社 1985 年——古い本なので入手しにくいかもしれないが、子どものためのクリティカル・シンキング入門の本。

ハヤカワ『思考と行動における言語』岩波書店 1972 年 「一般意味論」について知るために必須の本。

### Ⅲ. Critical Thinking の練習問題例

#### 1 報告—推論—断定

井上尚美『言語論理教育への道』  
より



野矢茂樹『論レーニング』

〈順接〉	付加	$A + B$
	解説	$A = B$
	論証	$A \rightarrow B$
	例示	$A \text{—例} B$

〈逆接〉	轉換	$A \text{—転} B$
	制限	$A \text{—制} B$
	讓歩	讓 $A \text{—転} B$
	対比	$A \text{—比} B$



例題3 次の議論の骨格を図示せよ。

① 語の意味とは、たんなる定義の意味ではない。たとえば、② アメリカの言語学でしばしば引き合いに出される例に“bachelor”という語がある。③ これは「結婚していない成人男子」と定義される。しかし、④ この定義にあてはまるにもかかわらず、同棲しているゲイのカップルやターザンやローマ法王を“bachelor”と呼ぶのはおかしい。なぜか。⑤ この語は、「結婚およびその適齢期に関して一定の期待がある人間社会」というコンテキストにおいてのみ、存在理由をもつからである。つまり、⑥ この語は、定義を知るだけでなく、コンテキストの条件をも知らなければ使用できないわけである。とすれば、⑦ 人は言葉を学ぶとき、定義のほかに使用可能なコンテキストも学ばなければならない。すなわち、⑧ 言葉の意味とは定義だけですむようなものではなく、むしろ⑨ 定義とコンテキストとを不可分に含む全体像としてあるのである。<sup>(42)</sup>

まず、「①、たとえば——」と続く。そこでこの例示の範囲を考えよう。④の前に「しかし」があるが、まだ“bachelor”の例が続いている。⑥の前に「つまり」とあるが、⑥で言われている「この語」とは“bachelor”のことであるから、まだ例示の範囲の中である。⑦はどうか。これは“bachelor”についてだけ述べているのではない。「人は言葉を——」と一般的な主張になっている。ということは、ここで②から⑥までの具体例から一般的主張が引き出されているのである。それゆえ、②から⑥までが例示の範囲である。

次の展開は、「とすれば⑦」と帰結を引き出しておいて、「すなわち」で解説していると捉えることができる。

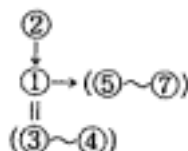
では、「すなわち」の範囲はどこまでだろうか。「(⑦、すなわち⑧)、むしろ⑨」なのか、それとも「⑦、すなわち(⑧、むしろ⑨)」なのか。

⑦は「定義とコンテキストをともに学ばねばならない」と述べている。⑧は「定義だけではだめだ」と述べ、⑨で「コンテキストも必要」と述べている。つまり、⑧と⑨が合わさって⑦の解説になっているのである。

以上を合わせて、次のように骨格を図示することができる。ここでも、さらに細部を書き込むことはできるが、あくまでも大づかみに全体の輪郭を捉えることが目的であるから、この段階で止めておく<sup>(43)</sup>。

例題3の解答 ①—例(②~⑥)→⑦=(⑧~⑨)

なお、ひとつの主張に対して複数の主張が接続関係をもつような場合には、二次元的な図示が必要になることもあるだろう。たとえば、文①に対して②がその根拠を示し、また③から④が①の解説であり、しかも⑤から⑦が①の帰結であったりすると、次のように図示されることになる。



問 71 次に含まれる論証の隠れた前提を取り出せ。

- (1) テングタケは毒キノコだ。だから、食べられない。
- (2) 「さっき彼と碁を打ってただろ。勝った?」「いや、勝てなかった」「なんだ。負けたのか。だらしがない」
- (3) 吠える犬は弱虫だ。うちのポチはよく吠える。だから、うちのポチは弱虫だ。

まず、前提が隠れている代表的なパターンを示そう。上の(1)–(3)がそのどれに当てはまるか、考えていただきたい。

- (a) すべてのAはBだ。だから、このaはBだ。

この論証には「このaはAだ」という前提が隠れている。

- (b) AはBだ。だから、AはCだ。

この論証には「BはCだ」という前提が隠れている。

- (c) Aではない。だから、Bだ。

この論証には「AかBかどちらかだ」という前提が隠れている。

論証においていくつかの前提が明示されていないというのは、ふつうはそれがとりたてて書くほどのことではないからであるが、しかし、そうして自明視している前提がときに誤りの元凶ともなる。とくに、独善的な論証ほど、問題のある前提が隠されている。それゆえ、隠された前提を探り出すことは論証の批判にとって決定的に重要なことである。

さて、問 71 を見ていこう。

(1)では、「毒キノコは食べられない」という前提が隠れている。パターンとしては(b)になる。

なお、この前提はまちがっている。テングタケはたしかに毒キノコであるが、適当な処置をすれば、危険は残るが食べられるらしい。そして、すごくおいしいらしい。

(2)はうっかりすると何も隠れていないように思えるかもしれない。しかし、「勝てなかった。だから、負けたのだ」という論証には、「勝つか負けるかどちらかだ」という前提が働いている。ちなみに、この前提もまちがっている。引き分け(持碁)がある。これはタイプ(c)であるが、このタイプが隠し持っている単純な二分法はしばしば誤りのもととなる。

(3)は難問と言うべきなのかもしれない。ポチが犬だとはどこにも書いてないのである。もし「うちのポチ」が虎だったらこの論証は成り立たない。パターンとしては(a)である。



問71の解答 それ 次の前提が隠れている。

- (1)毒キノコは食べられない。
- (2)碁は勝つか負けるどちらかだ。
- (3)うちのポチは犬だ

問72 次の論証の隠れた前提を取り出せ。

日本の自動販売機は、**樹脂**でできた透明のカバーでショーウィンドウのように覆われています。自動販売機にそのまま使われているのは日本だけです。なぜなら、**メタクリレート樹脂**はきれいで簡単に碎けるからです。

## 7 虚偽論

2. 権威が魅力と地位と名声をもってはいるが、知的な方面では何の能力ももっていないという場合がある。

e) 映画スターや運動選手は、しばしば朝食用オートミールの宣伝に利用される。

3. 専門家が、自分の専門外の分野で発言することがある。こうしたあやまりはさきのあやまりとひじょうによく似ている。b) の第一前提は、“ $x$ は $p$ に関しては信頼すべき権威である”でなければならなかった。ところがここでは、それとちがった前提が提出される。そしてその前提とは、“ $x$ は、 $p$ とはなんの関係もないことがらに関して信頼すべき権威である”である。

g) アインシュタインは物理学のある部門では、すぐれた権威である。だからといって、他の領域でも立派な権威であるとはいえない。社会道徳の分野では彼は多くの発言をしている。しかし物理学者としての彼の権威が、他の分野にまでくりこまれてはならない。

ここでも名声の転移がみられる。すなわちアインシュタインの、物理学者としての偉大な名声が、物理学以外のさまざまな問題に関する彼の立言に付加されているのである。

W. C. サモン『論理学』培風館 1967 年

## 8 メディア・リテラシー

### CMの外観： 実物の加工

照明、特殊フィルター、カメラアングルとクローズアップのダイナミックな用法、巧妙な編集といったものはすべてCMの効果に貢献している。

1. CMはどうやって商品が実際より良く見えるような見せ方をしているか？  
CMの実例をいくつか挙げ、商品の見えてくれをよくするために制作者が使っている技法について話し合ってみよう。
2. これらの技法の理想的な例は、子どものおもちゃのCMが示してくれる。子どものおもちゃ（とくにどこか動く部分のあるもの）で、そのCMを知っているものを持ちより、CMがうたっている特性と実際の性能の違いについて話し合ってみよう（両者の食い違いが相当あるときには、消費者は誤解を生むような広告について訴訟を起こすことができる。巻末の「カナダ広告基準規定」参照）子どもをターゲットにした広告について、それにともなうモラルの問題を考えてみよう。たとえばテレビの誇大広告を見た後では、そのおもちゃの見えてくれや性能に失望しないか？ 子ども向けの広告の内容には制限があるべきか？ “The Six Billion Dollar Sell”（「売り上げ60億ドル」）という映画（Visual Education Centre, 1976; 16mm, colour, 15min.）はこのテーマをうまく提示している。
3. 商品を何か選ぶか自分で考え出すかして、それを売るための最も効果的な手法を考え、CMのコンテを作ってみよう。

カナダ・オンタリオ州教育省編

『メディア・リテラシー』リベルタ出版 1992 年

### A. *The Island of Knights and Knaves*

There is a wide variety of puzzles about an island in which certain inhabitants called 'knights' always tell the truth, and others called 'knaves' always lie. It is assumed that every inhabitant of the island is either a knight or a knave. I shall start with a well-known puzzle of this type and then follow it with a variety of puzzles of my own.

26.

According to this old problem, three of the inhabitants – A, B, and C – were standing together in a garden. A stranger passed by and asked A, 'Are you a knight or a knave?' A answered, but rather indistinctly, so the stranger could not make out what he said. The stranger then asked B, 'What did A say?' B replied, 'A said that he is a knave.' At this point the third man, C, said, 'Don't believe B; he is lying!' The question is, what are B and C?

27.

When I came upon the above problem, it immediately struck me that C did not really function in any essential way; he was sort of an appendage. That is to say, the moment B spoke, one could tell without C's testimony that B was lying (see solution). The following variant of the problem eliminates that feature.

Suppose the stranger, instead of asking A what he is, asked A, 'How many knights are among you?' Again A answers indistinctly. So the stranger asks B, 'What did A say?' B replies, 'A said that there is one knight among us.' Then C says, 'Don't believe B; he is lying!'

Now what are B and C?



## 7. BIRTHDAYS IN JUNE

All of Ms. Johnson's children were born in June. Their birthdays are: June 1, June 7, June 12, June 20, and June 29. There are three girls named Mary, Elvira, and Joan, and there are two boys named Douglas and Timothy. She bought these five presents for them: a book, a coat, concert tickets, a dress, and an electronic game. From the information given, determine the birthday and present received by each child.

1. Timothy's birthday comes before that of the girl who received a dress but after the girl who received a coat.
2. Douglas's birthday comes before Elvira's birthday but after the birthday of the girl who received an electronic game.
3. Elvira did not receive the dress and neither did Joan.
4. Douglas did not get a book as a present.

	DOUGLAS	ELVIRA	JOAN	MARY	TIMOTHY	BOOK	COAT	CONCERT TIX	DRESS	ELEC. GAME
JUNE 1										
JUNE 7										
JUNE 12										
JUNE 20										
JUNE 29										
BOOK										
COAT										
CONCERT TIX										
DRESS										
ELEC. GAME										

10 4 択問題

1. About 85% of all energy consumed in the southern Sahara countries comes from the burning of wood.

With the trees that break the wind and anchor the soil destroyed, the Sahara expands unchecked.

How are these sentences related?

- (A) The first presents a fact, and the second contradicts it.
- (B) They are merely two sentences about the Sahara Desert.
- (C) The first describes a situation and the second its effect.
- (D) Each sentence is a part of a comparison.

Answer: \_\_\_\_\_

E. Alloupy & J. Weisbrodt: A Better Reason, ESI Publication, 1969

3. BEGGAR : WEALTH ::

- (A) TRAVELER : LOYALTY
- (B) FOOL : WISDOM
- (C) HERO : COURAGE
- (D) LEADER : ENTHUSIASM

Relationship: \_\_\_\_\_

Sentence: \_\_\_\_\_

Answer: ( )

ではもう少し具体的にいって、批判的思考能力とはどのようなものでしょうか。グレイザーは次のように述べています。

- (1) 問題を定義する能力
  - (2) 問題の解決に関連のある、適切な情報をえらぶ能力
  - (3) 表現された、または隠された仮定を理解する能力
  - (4) 適切な仮説を作ったり選んだりする能力
  - (5) 結論を正しく導く能力、また、推論の妥当性を判断する能力
- またショートカ(Shotka, J.)によると、批判的思考とは、
- (1) 問題を認識し定義づけること
  - (2) 仮説を認識すること
  - (3) 仮説を作り出すこと
  - (4) 仮説にもとづいて推論すること
  - (5) 証拠を集めること(読み・観察・調査・実験を通じて)
  - (6) 証拠を評価すること(偏見を見出すこと、妥当性、信頼性の決定を通じて)
  - (7) 集めた証拠を組み立てること
  - (8) 一般化すること、また決定や結論を引き出すこととされます。

また、批判的思考は、現実には「聞く・話す・読む・書く」という四つの活動を通じて行われるわけですから、具体的には「批判的な読み」とか「批判的な聴きとり」という形で現われます。そこでスミス(Smith, N.B.)は読みに次の三つの段階を考えています。<sup>(a)</sup>

- (1) 理解読み(literal reading)
- (2) 解釈読み(interpretive reading)
- (3) 批判読み(critical reading)

そして(3)の「批判読み」とは、価値・正確さ・真実性を評価するような読みだとしています。さらにウルフ(Wolf, W.)によると、「批判的な読み」ができるとは、次のような能力を持つようになることだとされます。<sup>(b)</sup>

- (1) 著者の目的・視点・先入見を分析する能力
- (2) 著者が直接述べていないことからの関係を見つめる能力
- (3) 事実と意見とを区別して読む能力
- (4) 論旨をたどり、その論理性(または非論理性)を指摘する能力

## 二、文学的文章の分析と評価

### A、文学形式

#### 1、文学の各領域の特性の理解

歴史小説、伝記、民話、寓話など

#### 2、詩の諸形式の理解

抒情詩、俳句など

#### 3、小説や詩を評価する尺度(規準)の開発

### B、文学の内容(細目省略)

#### 1、登場人物についての理解と評価

#### 2、プロットの構造についての理解と評価

#### 3、背景についての理解と評価

#### 4、テーマについての理解と評価

### C、文学の表現

#### 1、著者の言語の使用法についての理解と評価

#### (a) ことばの比喩的・象徴的用法の評価

隠喩、擬人法など

#### (b) 文体についての評価

#### (c) 皮肉、ユーモア、誇張法などについての効果の判定

#### 2、立場や視点の理解と評価

#### (a) 物語の語られている視点の理解

#### (b) もしも物語が他の視点から語られたらどう違ったかを判断する

#### (c) 違った立場から書かれた本との比較



(5) あることがらを完全に理解するのに必要な、事実や情報を整理しているか等として、それを理解する能力、など。

さらにウルフは「批判的な読み」の技術として次のような項目を考えています。

一、情報的・論説的文章の分析と評価

A、意味論

1、アイマイなことばと厳密なことばとの区別

2、ことばの内包的意味と外延的意味のちがいを理解すること

B、論理

1、妥当性の理解と評価

(a) 結論が前提から必然的に導かれているか

(b) 類種関係の理解、分類

(c) 全称・特称・否定命題の適切な使い方

(d) 表現されていない前提や結論を発見すること

2、文章の信頼性の理解と評価

(a) 情報の信頼度をテストする方法を見つけること

(b) 前提と結論の正しさを決定すること

(c) 内容の誤りを見つけること

例、性急な一般化

比喩の誤り

誤った因果関係など

(d) 客観的証明と主観的証明の区別

(e) 情報の信頼性を判定すること

C、文章(表現)の真実性

1、情報の適否の理解

2、たくさんの情報源から関連した情報を比較すること

3、情報源の信頼性の理解、また一定の規程に従って情報源を評価すること

4、著者、出版社、スポンサーの資格の評価

さらに、具体例として、カリフォルニア州の公立学校国語科教師の手引きに参考書として広く読まれている本によると、批判的思考の指導は幼稚園から高校三年までのどの段階の子供たちにも配当されています。そこには「言語教育への示唆」という一章の中に「意味論及び批判的思考」という項目があり、そこで指導すべきことがらとして次のようなものが挙げられています。

幼〜小3

・言語の指示的意味

・同音異義語

・イントネーション

・ある一つの語の意味を解くカギとして文中の他の語の意味を考える

小4〜小6

・文脈が意味を決定する

・情報の意味と感化的意味

・比喩について

・内包的意味

中1〜高1

・情報の意味と感化的意味

・主張と説得、事実と宣伝とのちがひ

・抽象のハシゴ(抽象度の高い語、ことばの魔術)。抽象化と具体化

高2〜高3

・以上の意味論や批判的思考についての認識をさらに深める

次にもう一種類、中教出版「国語」言語編(時枝誠記編、昭和二八年度用)の單元一覽表を掲げてみましょう(一九六、一九七ページの表参照)。

これら「言語編」教科書は、会社によって多少、重点の置き方に違いはありますが、大体において、その内容を次のようにまとめることができます。

- 1、日常の言語生活上の技術(会議の仕方、電話のかけ方、あいさつの仕方など)
- 2、文章の読み・書きに関する技法、話しの技法(報告と説明、修辭法なども含む)
- 3、国語の特性(方言、敬語など)
- 4、ことばのきまり(文法、表記)

その中でレトリックについては、例えば学校図書「中等言語」三(辰野・久松監修、昭和二六年版)に、「文章の技巧」として次のような項目が挙げられています。

### 1、比喩

イ、直喩(明喩)      ロ、隱喩(暗喩)      ハ、活喩(擬人法)

### 2、強調

イ、誇張      ロ、詠嘆      ハ、反覆      ニ、列挙

ホ、漸層      ヘ、対照      ト、現在

### 3、変化

イ、倒置

ロ、頓呼(文章の途中で急に人や物に呼びかけたり話を一転したりする方法)





辞書における「国語」と「日本語」の記載の異なり

○新潮国語辞典

現代語 古代語

久松潜一監修

平成3年 新装決定刷

○岩波国語辞典

西尾実 才三版

岩瀬悦太郎

水谷静夫 編

一九七九年才三版第一刷

○広辞苑

新村出編

第五版  
岩波書店

一九九八年第五版第一刷

○日本語大辞典

梅棹忠天 講談社

金田一春彦

阪谷信太郎 監修

日野原重明

一九八九年第一刷

コクゴ【国語】①国を形成してあるおもな民族が、祖先から継承して、一国の共通公用語となつてゐる言語。(「サン」②「日本語」の別称。③学校の教科の「国語」の解説を現・日本文学の学習などを含む。

こくご【国語】①わが国の言語。日本語。▽俗に、方言に対して、共通語・標準語をさすこともある。②ある国家の公的な言語。国家語。③学校の教科の一つである「国語科」の時。④漢語・外来語に対して、和語。「一仮名遣」

こくご【国語】①その国において公的なものとされてゐる言語。その国の公用語。自国の言語。②日本語の別称。③漢語・外来語に対して、本来の日本語。和語。やまごことば。④国語科の時。(書名別項)「こくご【国語科】学校の教科の一。国語2に関する理解・表現・態度などの学習を目的とする教科。聞き、話し、読み、書く能力を養ふ。

こくご【国語】①国が公用語として認めてゐる言語。また、その国のことば。国家語。national language。②外国語に対して日本語。Japanese。③漢語・外来語に対して、和語。④学校の学科の一つ。国語科。Japanese language

【五】語「日本民族の用ゐる言語。祖語未詳。構造上は膠着語(コウチャクゴ)に属し、ウラル・アルタイ語族の言語とする説が有力。述語の前に目的語があること、助詞により意味関係を示すこと、接続による語形変化があること等が特徴で、文字は漢字・ひらがな・かたかな等を併用する。

項目なし

【一】【日本語】日本民族の言語で、日本の国語。語彙や文字の点で中国語の影響を受ける。系統に関しては、朝鮮語・モンゴル語などと同様ウラル・アルタイ語族の一つ、マライ・ポリネシア語族の一つ、インドのドラヴィダ語族の一つなど諸説がある。特徴として、閉音節、膠着形態、動詞文末語順、敬語の使用などが挙げられる。語順は比較的自由である。

【ほんご】【日本語】日本民族が用ゐる言語。形態的には膠着語に属し、朝鮮語・アルタイ諸語と共通の特徴がみられるが、音節構造は比較的単純で、その系統は不明である。語彙は和語(大和ことば)・漢語・外来語に分かれる。漢語は歴史的に定着し、とくに文化語彙に多い。Japanese

小エミ館

にほんご【日本語】【名】日本國の國語。日本本土のは

か、海外の日本人移住者の間で話される。系統については、アルタイ語系説、朝鮮語同系説、マライーポリネシア語族などの南方語系説、その他があり、定説はない。同系であることが証明されているのは琉球語だけであるが、琉球語は日本語の一方言ともされる。音節の構造が比較的単純で音節の種類も多くな、大部分開音節であること、いわゆる膠着語で、助辭(助詞・助動詞)が文の成立について果たす機能が大きいこと、敬語法が発達していること、一、二人称の代名詞の種類が多いこと、職業・年齢・性別などによる用語の違いが著しいことなどの特徴を持つ。なお日本語の語彙は和語(日本固有の語で、特に動詞、形容詞に多い)、漢語(中國語からはいった語および日本で漢字を組み合わせて作られた語)、外来語(漢語以外の、英・独・仏・伊・ポルトガル・オランダなどの言語からはいった語)の三種に分かれる。また表記法は非常に複雑で、文章には漢字、ひらがな、かたかな、ローマ字などが入り混じる。方言は、国土面積の割に違いが著しい。大きく東日本方言・西日本方言・九州方言の三つに分けられ、共通語は東日本方言の中の東京方言に基づいている。にっぽんご。諷誠京わらんべ(坪内逍遙)五「いっそ日本語(ニホンゴ)を丸く切やめて、悉皆英語國にするがいいです」(完)二ホンゴ(完)①(完)②(完)③(完)④(完)⑤(完)⑥(完)⑦(完)⑧(完)⑨(完)⑩(完)

こくご【國語】【名】①ある一國における共通語または公用語。その國民の主流をなす民族が歴史的に用いてきた言語で、方言を含めてもいう。・解体新書「凡有物必有羅甸与國語、今所直訳、悉用和蘭國語也」・百学連環(西周)「Language(國語)」・日本今後の文字と文章(朝比奈和泉)「芬蘭が瑞露の支配に属して國語を保ち、波蘭が埃露索に分たれて同じく國語を保ち」・吾輩は猫である(夏目漱石)「五、人間の用ふる國語は全然模倣主義で伝習するものである」②日本の言語。日本語。みくにことば。邦語。・漢字御廃止之議(前島密)「今日日本に來りて見るに句法語格の整然たる國語の有るにも之を措き」・西洋道中膝栗毛(仮名垣魯文)「一、下、國語(コクゴ)國文(共に我國をさしていう)に通せし徒は坐辺に置かざるはなし」・文部省第一年報(明治六年)長崎外國語学校「時に米人、ウニルヘッキ本校の教師たる事故に年ありて能く國語に通じ教導の任に適す」・明六雜誌「一、号、洋字を以て國語を書するの論(西周)「今洋字を以て和語を書す其利害得失果して如何(略)童蒙の初学先(まず)國語に通じ、既に一般事物の名と理とに通じ、次に各國の語に入るを得」・帝國教育會請願書(明治三十三年一月二十六日)「國字國語國文を改良し、及び之を實行せん為に、政府に於て速に其の方法の調査に着手せらるべきこと」③借用によらない、日本固有の語。漢語、外来語に対していう。和語。やまとことば。・國語調査委員會(會申)「明治三十八年一月二一日、國語及字音の長音には「ア、イ、ウ」を用ゐるを正則とし、略(但し外國語には「エ」を)」④学校教育の教科の一つ。日本の言語および言語文化を取り扱う。「漢文」と対置または併称され、またこれを内容に含む場合がある。・文部省布達番外(明治五年九月八日)「下等中學校教則第六級一國語二數學八算術と云ふ三習字八書讀作文四圖画」・小學校令施行規則(明治三十三年)三条「國語は普通の言語、日常須知の文字及文章を知らしめ正確に

思想を表彰するの能を養ひ兼て智徳を啓発するを以て要旨とす」(完)中國の史書。二二卷。魯の太史左丘明の著と伝えるが未詳。春秋時代の八か國の歴史を國別に記したもので、周語三卷、魯語二卷、齊語一卷、晉語九卷、鄭語一卷、楚語二卷、吳語一卷、越語二卷から成る。吳の章昭(いししょう)の注がある。百史。外伝。(完)コクゴ(完)コクゴ(完)コクゴ(完)コクゴ(完)コクゴ(完)コクゴ(完)コクゴ(完)コクゴ(完)コクゴ(完)